

# 地元企業の景況 第56号

郡上市八幡町新町961番地  
八幡信用金庫  
総務・企画本部  
TEL (0575) 65 - 3407  
FAX (0575) 66 - 2252

## < 業況判断 >

### 今期業況過去最低水準、来期は小幅改善予想

業況判断図（業種ごとの業況を表情図で示しました。）

#### 今期（平成21年1～3月期）

1. 今期の業況判断D.I.は 69.5と前期（平成20年10月～12月期） 54.5に比べ15.0ポイント悪化。前期に続いて調査開始以来の過去最低水準。
2. 不動産業、小売業で改善が見られたものの、サービス業、製造業、建設業、飲食業、農業、卸売業で悪化。業況は引き続き非常に厳しい状況にある。

#### 来期（平成21年4～6月期）

1. 来期の業況判断D.I.は 67.8と今期 69.5に比べ1.7ポイント改善予想。農業、卸売業、サービス業、製造業で悪化するも、飲食業で横ばい、不動産業、小売業、建設業で改善予想。

業種	時期 前期 H20年 10～12月	今期 H21年 1～3月	来期 H21年 4～6月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

きわめて不振 DI < 30	不振 30 DI < 15	やや不振 15 DI < 0	まあまあ 0 DI < 15	好調 15 DI < 30	特に好調 30 DI

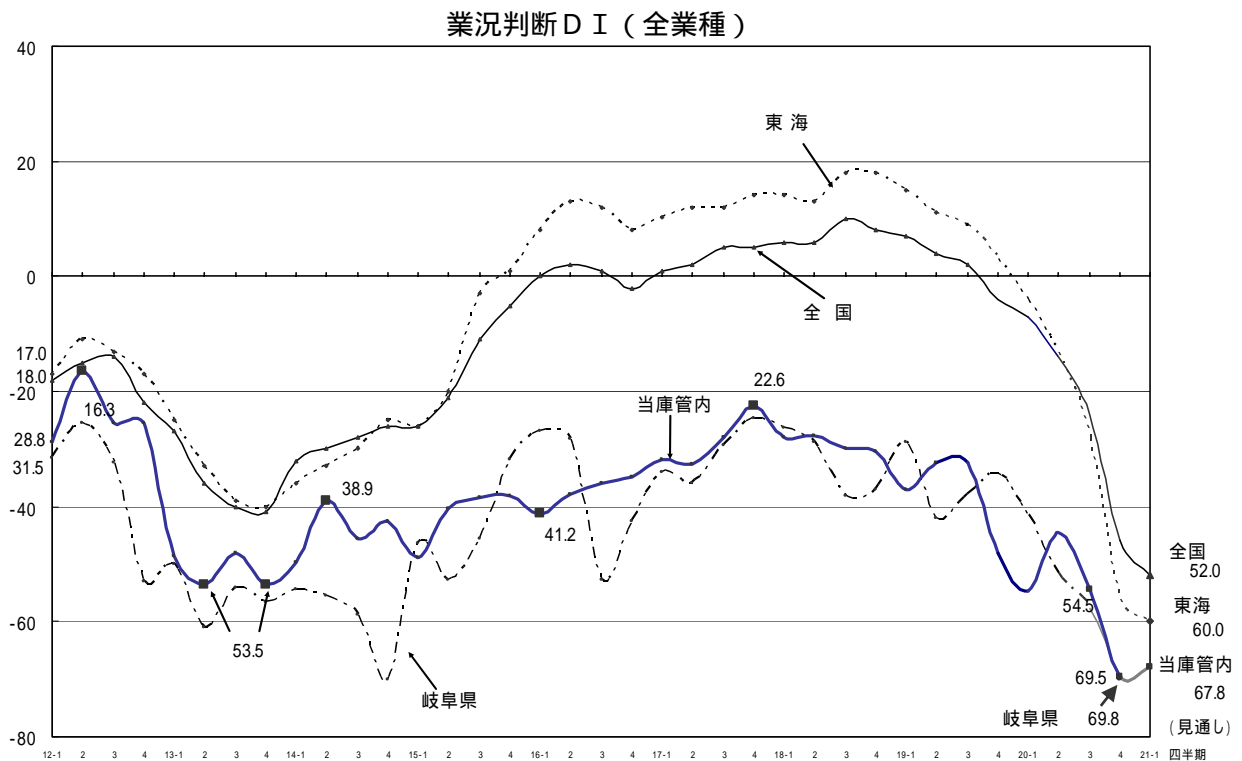
## 調査概要

調査目的	郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先を中心とした景気動向
調査対象	当金庫取引先 231先 (郡上市198社 下呂市19社 高山市・大野郡白川村14社)
調査時期	平成21年1月1日～3月31日
調査時点	平成21年3月25日時点
回収状況	配付数 231先(うち回収数174先) 回収率 75.3%
調査項目	(1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り (5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
補足調査	製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
特別調査	昨年からの原材料等の価格高騰による影響と、その後について
参考資料	有効求人倍率について
調査方法並びに注意事項	・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断...D.I.(ディフュージョン・インデックス) ・数値のほかグラフも掲載致しました。 ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。 ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

# 1. 業況判断

全業種の業況判断D.I.(良い-悪い)は、今期(平成21年1~3月期) 69.5と前期(平成20年10~12月期)に比べ15.0ポイント悪化となり、前期に続いて調査開始以来過去最低水準を示しました。業種別では、不動産業、小売業で改善が見られたものの、サービス業で50ポイント以上悪化したのをはじめ、製造業、建設業、飲食業、農業、卸売業で悪化が見られました。特に製造業においては83%が今期「悪い」との回答で、自動車関連企業を中心として世界同時不況の影響が出ているものと考えられます。地域内の業況は依然として非常に厳しい状況が続いています。

来期(平成21年4~6月期)の業況判断見通しは、農業、卸売業、サービス業、製造業で悪化するものの、飲食業で横ばい、不動産業、小売業、建設業で改善する見通しとなっており、その結果、予想業況判断D.I.は67.8と小幅ながら改善予想となっています。



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜・多治見支店国民生活事業による。

## 業況判断

(%)

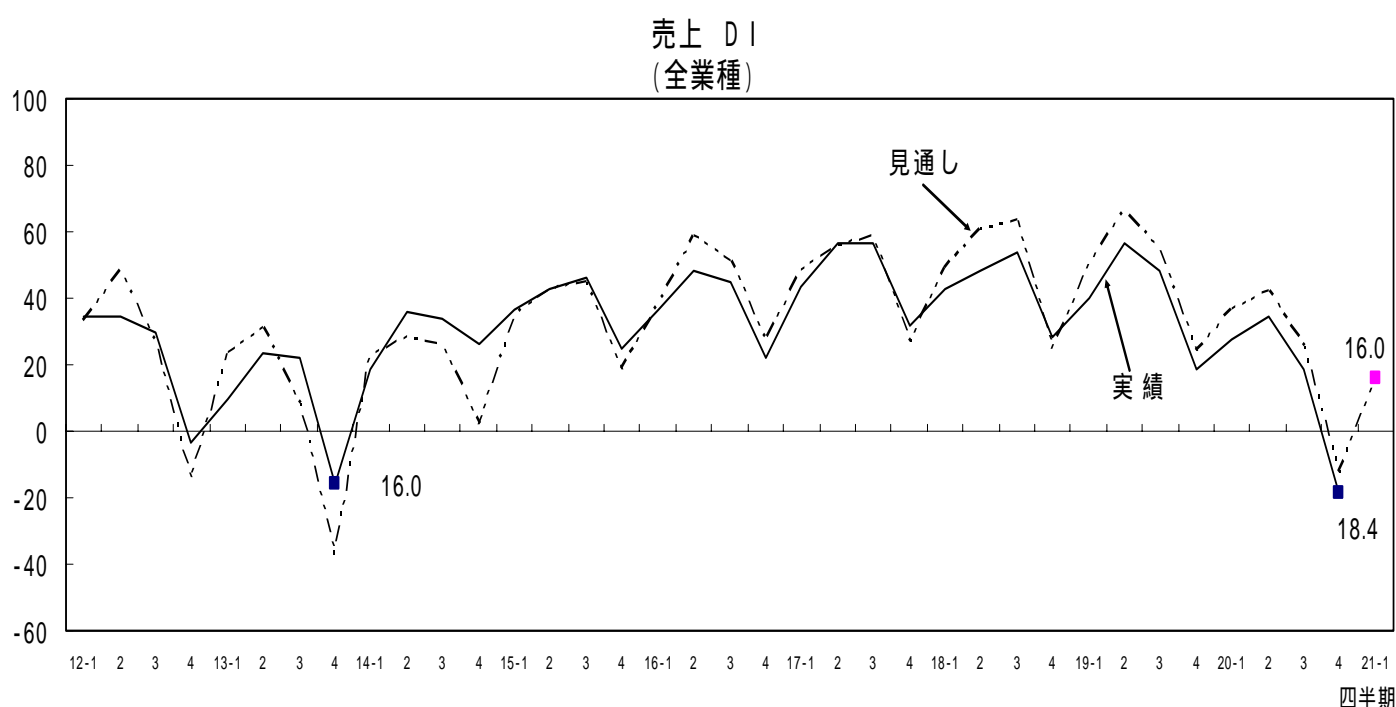
業種	H20年10月~12月(前期)				H21年1月~3月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	20.0	16.0	64.0	44.0	9.4	7.5	83.0	73.6	5.7	11.3	83.0	77.3
卸売業	6.7	26.7	66.7	60.0	6.7	20.0	73.3	66.6	6.7	13.3	80.0	73.3
小売業	2.0	16.3	81.6	79.6	2.0	20.0	78.0	76.0	4.0	26.0	70.0	66.0
飲食業	25.0	12.5	62.5	37.5	16.7	16.7	66.7	50.0	16.7	16.7	66.7	50.0
サービス業	18.2	54.5	27.3	9.1	6.7	20.0	73.3	66.6	0.0	26.7	73.3	73.3
建設業	12.0	24.0	64.0	52.0	7.4	18.5	74.1	66.7	11.1	14.8	74.1	63.0
不動産業	0.0	40.0	60.0	60.0	20.0	20.0	60.0	40.0	40.0	20.0	40.0	0.0
農業	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	66.7
全業種	12.0	21.6	66.5	54.5	6.9	16.7	76.4	69.5	6.9	18.4	74.7	67.8

## 2. 売上・受注

### (1) 売上

建設業を除く売上額判断D.I.(増加-減少)は、今期 18.4と前期18.6に比べ37.0ポイント悪化となりました。業種別では、小売業で改善となりましたが、その他の業種については、農業で200ポイント悪化を始めそれぞれ40ポイント以上悪化となりました。今期の売上D.I.は平成14年1~3月期の16.0を上回る過去最低水準となりました。

来期の見通しは、すべての業種で改善の見通しとなっており、その結果、予想売上判断D.I.は16.0と今期より34.4ポイントの大幅な改善予想となっています。



### 売上

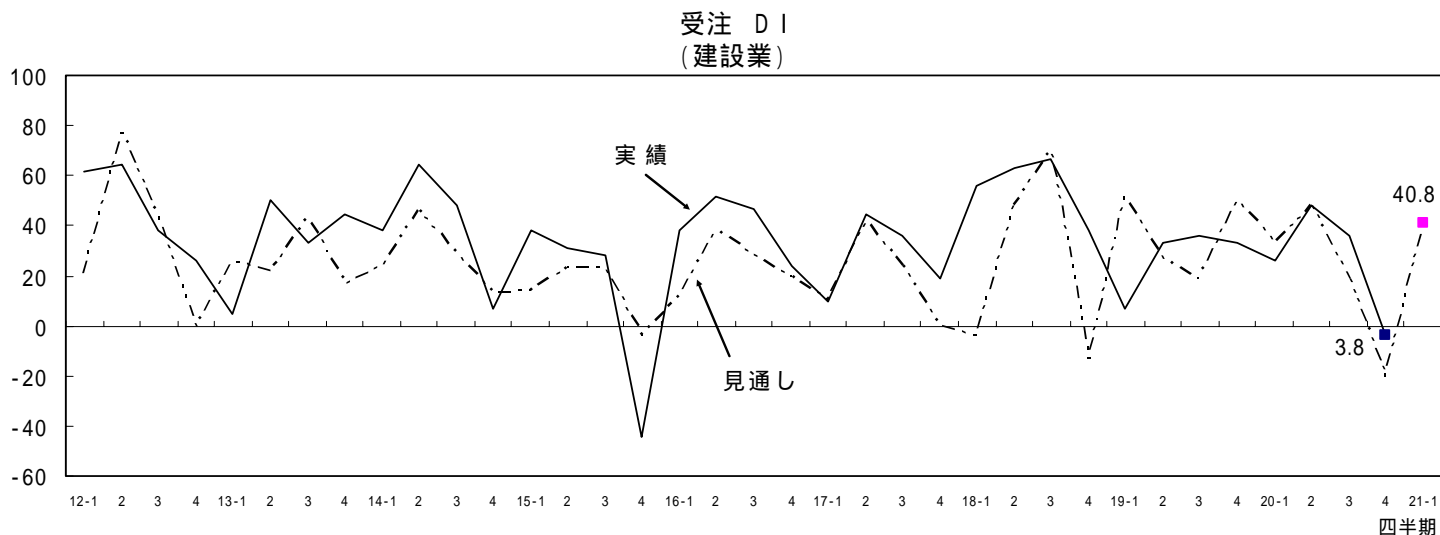
(%)

業種	H20年10月~12月(前期)			H21年1月~3月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
製造業	64.0	36.0	28.0	20.8	79.2	58.4	43.4	56.6	13.2
卸売業	53.3	46.7	6.6	33.3	66.7	33.4	66.7	33.3	33.4
小売業	28.6	71.4	42.8	38.0	62.0	24.0	54.0	46.0	8.0
飲食業	62.5	37.5	25.0	16.7	83.3	66.6	50.0	50.0	0.0
サービス業	63.6	36.4	27.2	33.3	66.7	33.4	40.0	60.0	20.0
不動産業	80.0	20.0	60.0	60.0	40.0	20.0	80.0	20.0	60.0
農業	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	33.3	66.7	33.4
全業種	59.3	40.7	18.6	40.8	59.2	18.4	58.0	42.0	16.0

(2) 受注

建設業（建築工事19先、土木工事12先）の受注判断D.I.（増加-減少）は、今期 3.8と前期36.0に比べ39.8ポイントの大幅な悪化となりました。

来期の見通しは、建築工事で62.5ポイント、土木工事で9.0ポイントの改善見通しとなっており、来期の予想受注高判断D.I.は40.8と今期より44.6ポイントと改善予想となっています。



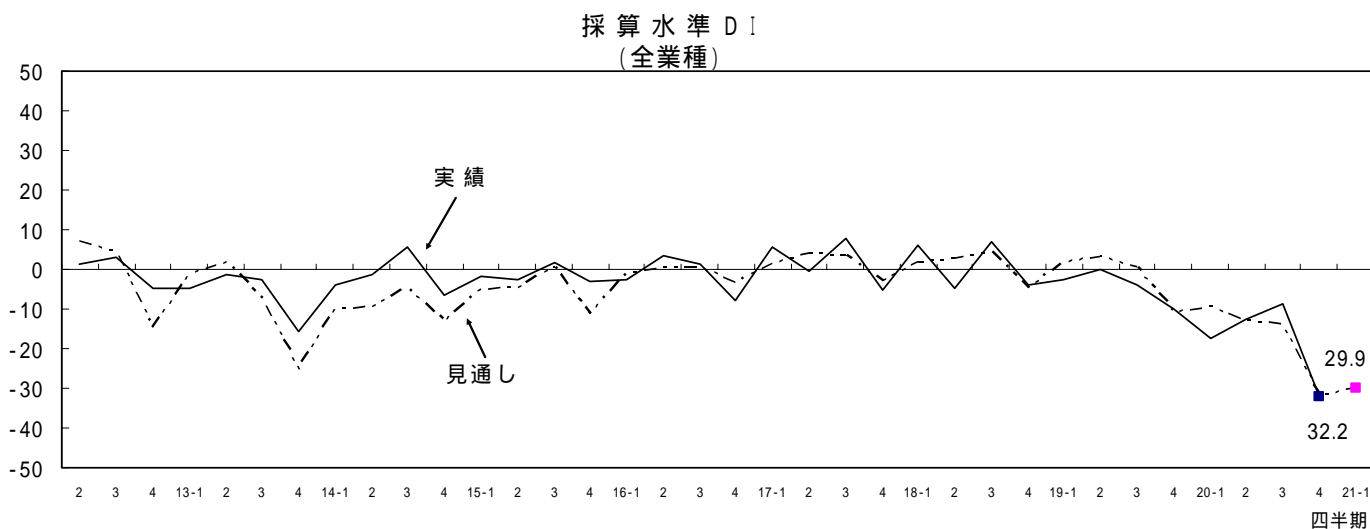
受注 (％)

業種	H20年10月～12月(前期)			H21年1月～3月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
建設業(受注)	68.0	32.0	36.0	48.1	51.9	3.8	70.4	29.6	40.8

### 3. 採算水準

全業種の採算水準判断D.I.(黒字-赤字)は、今期 32.2と前期 8.9に比べ23.3ポイント悪化となりました。業種別では、サービス業、小売業で改善となりましたが、農業、製造業、建設業、卸売業、飲食業、不動産業で悪化となりました。採算水準判断D.I.についても過去最低水準となりました。また、採算水準で赤字と回答された先にその原因をお聞きしたところ、「売上の減少」が要因との回答が多くありました。

来期の見通しは、サービス業、飲食業、製造業で悪化の見通しとなっていますが、小売業で横這い、農業、不動産業、建設業、卸売業で改善する見通しとなっており、その結果、予想採算水準判断D.I.は 29.9と2.3ポイントの改善予想となっています。



採算水準

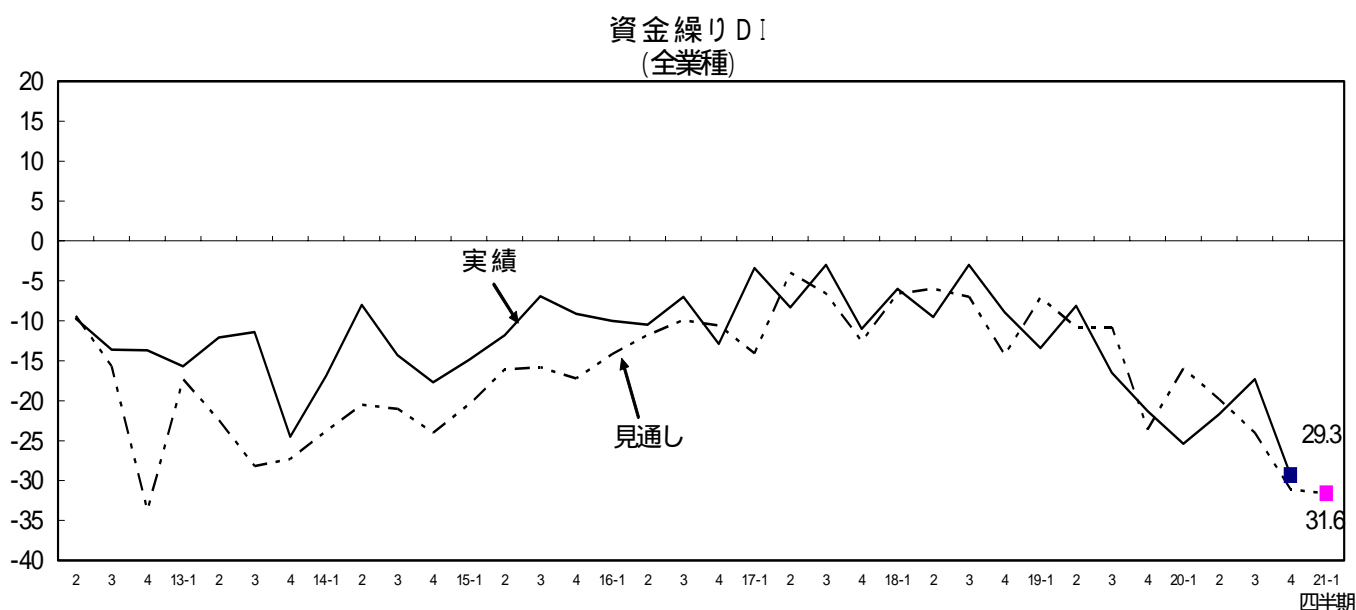
(%)

業種	H20年10月～12月(前期)				H21年1月～3月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支比率	赤字	D I	黒字	収支比率	赤字	D I	黒字	収支比率	赤字	D I
製造業	26.0	46.0	28.0	2.0	9.4	34.0	56.6	47.2	7.5	35.8	56.6	49.1
卸売業	13.3	60.0	26.7	13.4	13.3	33.3	53.3	40.0	20.0	33.3	46.7	26.7
小売業	16.3	44.9	38.8	22.5	18.0	44.0	38.0	20.0	12.0	56.0	32.0	20.0
飲食業	25.0	37.5	37.5	12.5	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	16.7	66.7	50.0
サービス業	27.3	45.5	27.3	0.0	40.0	26.7	33.3	6.7	13.3	60.0	26.7	13.4
建設業	16.0	60.0	24.0	8.0	7.4	40.7	51.9	44.5	11.1	48.1	40.7	29.6
不動産業	20.0	80.0	0.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	80.0	0.0	20.0
農業	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0
全業種	20.4	50.3	29.3	8.9	14.9	37.9	47.1	32.2	12.1	46.0	42.0	29.9

## 4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D.I.(好転-悪化)は、今期 29.3と前期 17.3に比べ12.0ポイント悪化となりました。業種別では、小売業で改善となりましたが、不動産業、農業、飲食業、製造業、建設業、卸売業、サービス業で悪化となりました。資金繰り判断D.I.についても過去最低水準となりました。

来期の見通しは、不動産業、飲食業、小売業、建設業で改善する見通しですが、サービス業で横這い、卸売業、製造業、農業で悪化する見通しとなっており、その結果、予想資金繰り判断D.I.は 31.6と2.3ポイント悪化予想となっています。

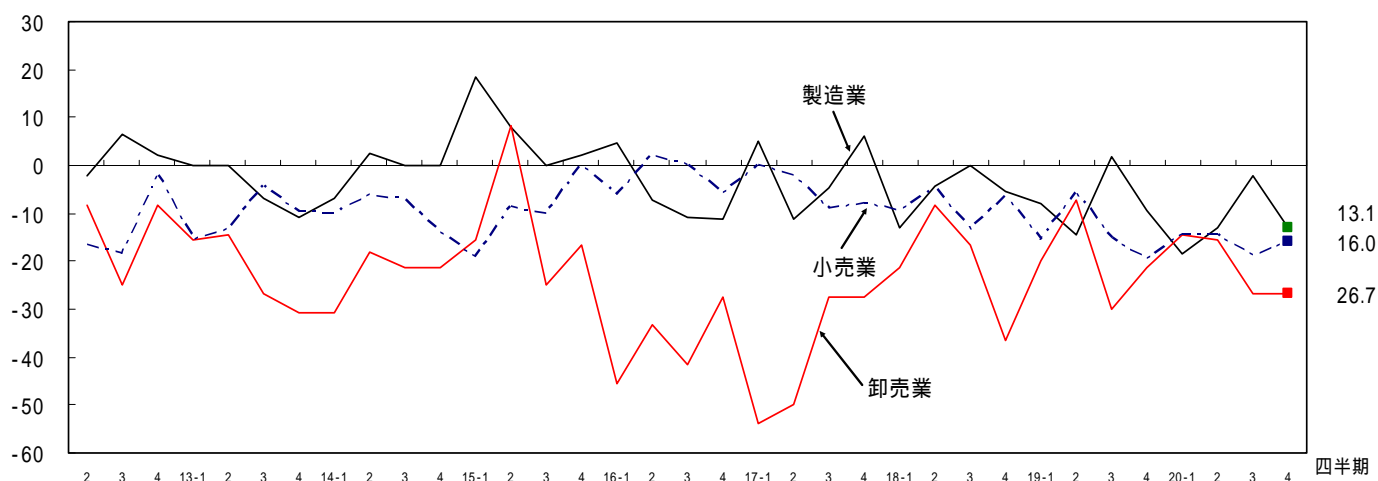


## 5 . 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D.I.（不足 - 過大）は、小売業で 16.0と2.8ポイント改善となりましたが、卸売業で 26.7と横這い、製造業で 13.1と10.8ポイント悪化となりました。

製造業は在庫不足と感じている割合が低下し、適正感と過大感が上昇しました。小売業は不足感と適正感が上昇し、過大感が低下しました。

製品(商品)在庫D I



製品(商品)在庫

(%)

業種	H20年10月～12月(前期)				H21年1月～3月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製造業	13.6	70.5	15.9	2.3	4.3	78.3	17.4	13.1
卸売業	13.3	46.7	40.0	26.7	13.3	46.7	40.0	26.7
小売業	12.5	56.3	31.3	18.8	14.0	56.0	30.0	16.0

## 6. 設備投資

設備投資に関しては、今期「行った」とする割合が16.1%と前期に比べ4.3ポイント減少しました。

今期の投資目的としては、「機械・設備の新・増設」、「事務機器」、「車輛」が6件と最も多く、続いて「機械・設備の更改」が4件、「事業用土地・建物」、「その他」が3件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は10.9%と今期より5.2ポイント低下する見込みです。

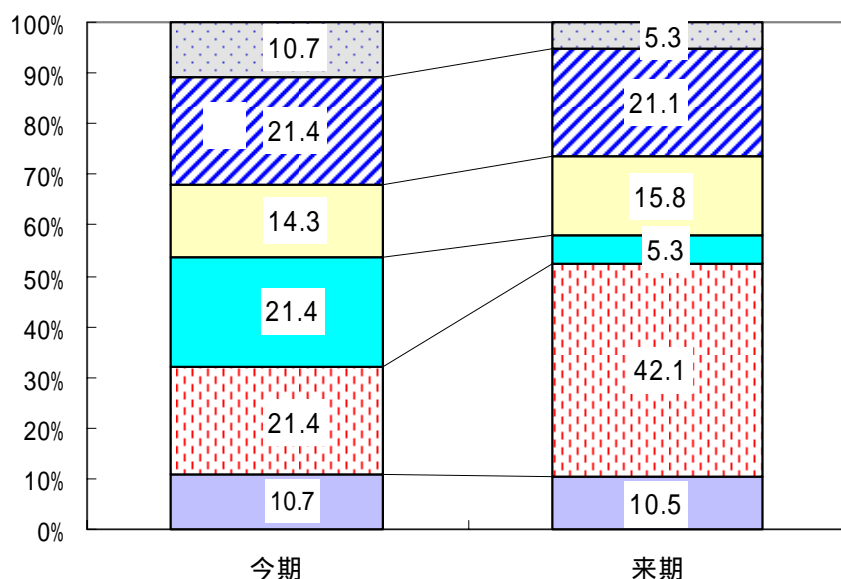
設備投資

(%)

業種	H20年10月～12月(前期)		H21年1月～3月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	20.0	80.0	17.0	83.0	7.5	92.5
卸売業	33.3	66.7	6.7	93.3	6.7	93.3
小売業	18.4	81.6	12.0	88.0	16.0	84.0
飲食業	0.0	100.0	16.7	83.3	16.7	83.3
サービス業	36.4	63.6	20.0	80.0	13.3	86.7
建設業	20.0	80.0	22.2	77.8	7.4	92.6
不動産業	20.0	80.0	20.0	80.0	0.0	100.0
農業	0.0	100.0	33.3	66.7	33.3	66.7
全業種	20.4	79.6	16.1	83.9	10.9	89.1

投資目的

区分	H21年1月～3月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
事業用土地・建物	3	10.7	1	5.3
機械・設備の新・増設	6	21.4	4	21.1
機械・設備の更改	4	14.3	3	15.8
事務機器	6	21.4	1	5.3
車輛	6	21.4	8	42.1
その他	3	10.7	2	10.5
合計	28	100.0	19	100.0



## 7. 経営上の問題点

経営上の問題点に関しては、「売上の停滞・減少」とする回答割合が64.4%と最も多く、次に「利幅の縮小」が13.8%、「その他」6.9%、「販売競争激化」5.2%、「販売価格の不安定」3.4%と続き、景気見通しは依然後退局面にある事を示しています。

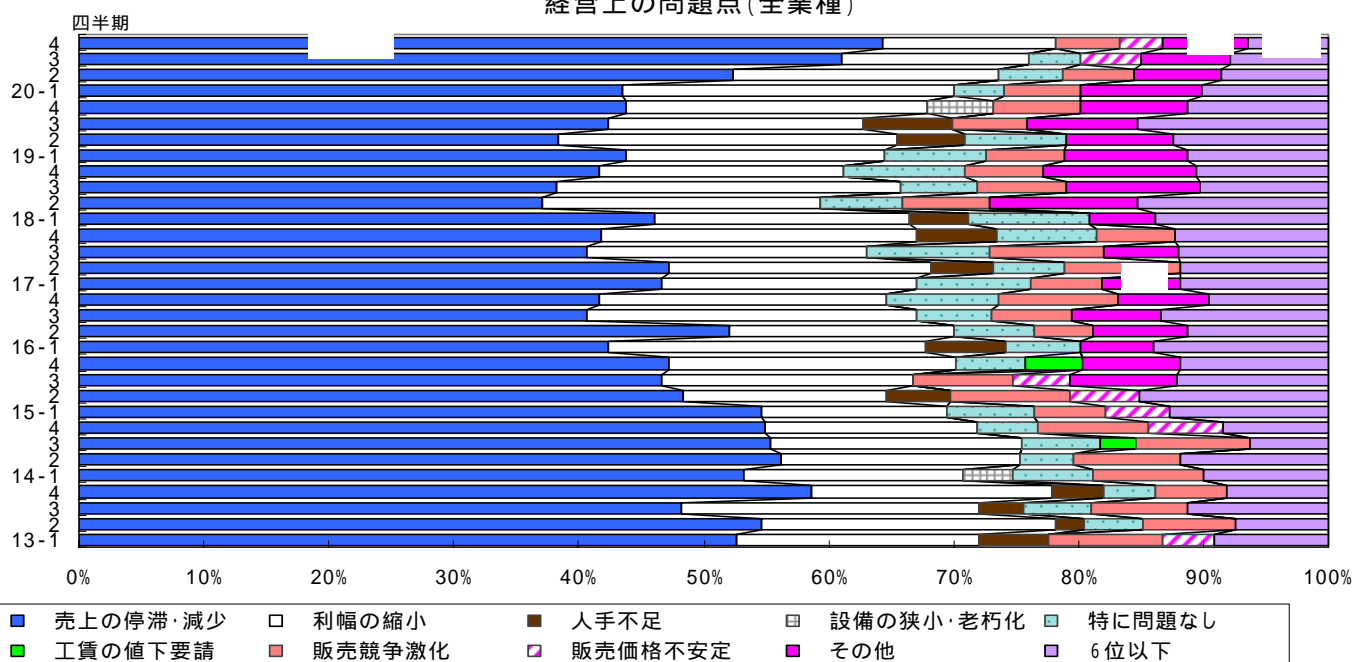
今期も1、2、3位に順位の変動はありませんでした。内容としては、1位の「売上の停滞・減少」と2位の「利幅の縮小」は全体の78.2%を占めており、特に「売上の停滞・減少」は、前期より3.3ポイント増加しており景気の更なる後退が懸念されます。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 71.7	利幅の縮小 18.9	販売競争激化 3.8	工賃の値下要請 1.9	問題なし 1.9
卸売業	売上の停滞・減少 86.7	人手不足 6.7	問題なし 6.7		
小売業	売上の停滞・減少 58.0	利幅の縮小 16.0	販売価格の不安定 10.0	販売競争激化 8.0	人手不足 4.0
飲食業	売上の停滞・減少 50.0	販売競争激化 16.7	問題なし 16.7	その他 16.7	
サービス業	売上の停滞・減少 53.3	利幅の縮小 13.3	人手不足 6.7	販売競争激化 6.7	販売価格の不安定 6.7
建設業	売上の停滞・減少 66.7	その他 18.5	利幅の縮小 11.1	販売競争激化 3.7	
不動産業	売上の停滞・減少 40.0	その他 40.0	利幅の縮小 20.0		
農業	その他 66.7	売上の停滞・減少 33.3			
全業種	売上の停滞・減少 64.4	利幅の縮小 13.8	その他 6.9	販売競争激化 5.2	販売価格の不安定 3.4

経営上の問題点(全業種)



(%)

区分	17-4	18-1	2	3	4	19-1	2	3	4	20-1	2	3	4
売上の停滞・減少	40.3	46.1	37.1	38.1	40.0	43.8	38.4	42.3	43.9	43.5	52.0	61.1	64.4
利幅の縮小	24.3	20.4	22.4	27.4	18.8	20.6	27.0	20.3	24.1	26.6	21.1	15.0	13.8
その他	-	5.4	11.8	10.7	11.8	9.8	8.6	8.8	8.6	9.6	6.9	7.2	6.9
販売競争激化	6.1	-	7.1	7.1	5.9	6.2	-	6.0	7.0	6.2	5.7	-	5.2
販売価格の不安定	7.7	9.6	6.5	6.0	9.4	8.2	8.1	-	-	-	-	4.8	3.4
特に問題なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	5.1	4.2	-
人手不足	6.1	4.8	-	-	-	-	5.4	7.1	-	-	-	-	-
設備の狭小・老朽化	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-
工賃の値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」は6位以下を示しています。

## 8. 業況の回復時期

業況の回復時期に関しては、「平成21年7～9月」、「平成21年10～12月」、「平成22年7月以降」が同率で4.6%と最も多く、次いで「平成21年4月～6月」が2.3%、「平成22年1月～6月」が1.7%となっております。「すでに回復」は1先もなく、現在の不況感を表しています。

しかし「わからない」との回答が82.2%と最も多く、依然として先行き不透明感が強く出ています。

業況の回復時期

(先、%)

業種	回答企業数	すでに回復	平成21年4～6月	7～9月	10～12月	平成22年1～6月	7月以降	わからない
製造業	53	0.0	1.9	3.8	7.5	1.9	1.9	83.0
卸売業	15	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	73.3
小売業	50	0.0	4.0	6.0	6.0	4.0	4.0	76.0
飲食業	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
サービス業	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
建設業	27	0.0	0.0	7.4	3.7	0.0	3.7	85.2
不動産業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
農業	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全業種	174	0.0	2.3	4.6	4.6	1.7	4.6	82.2

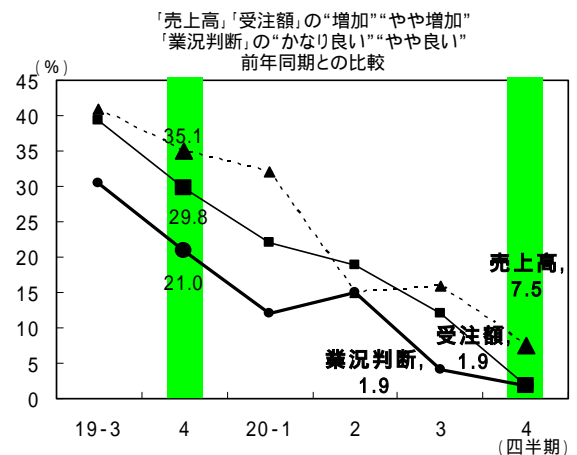
## 補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第4四半期)との比較調査を每期実施しております。

製造業の「売上高」では、前年同期(回答数57先)は“増加”“やや増加”の回答が35.1%(20先)に対し、今期(回答数53先)は7.5%(4先)と27.6ポイント減少、「受注額」では同様29.8%(17先)に対し、1.9%(1先)と27.9ポイント減少となっています。

「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”が21.0%(12先)に対して、今期は1.9%(1先)と19.1ポイント減少となっています。

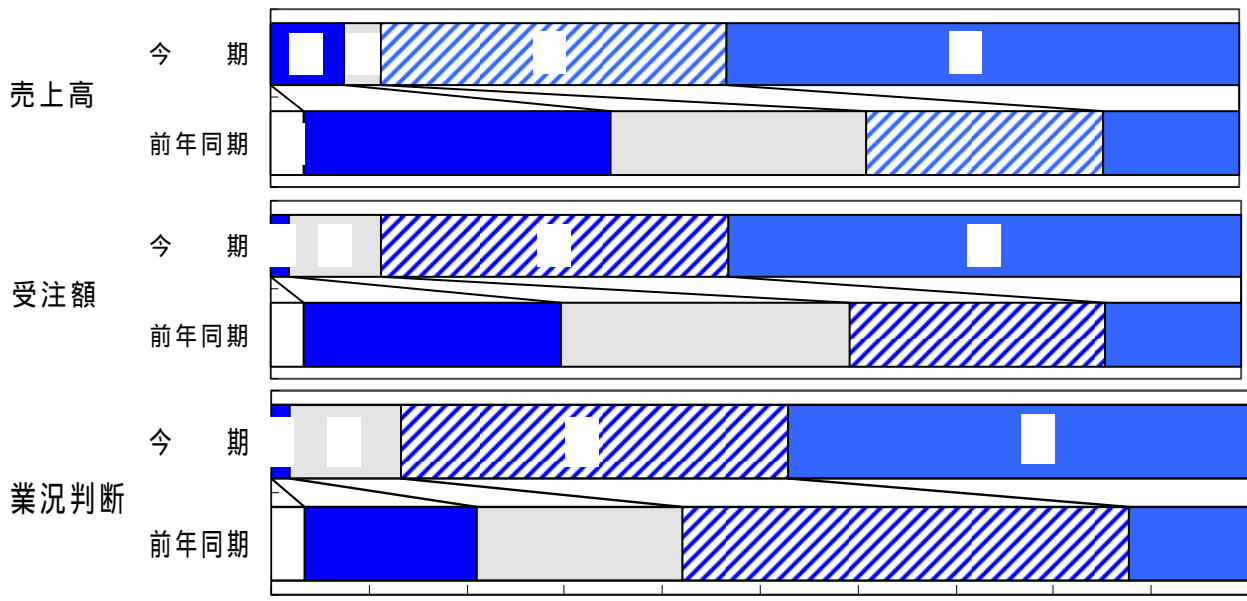
製造業は「業況判断」「売上高」「受注額」ともに前年同期よりポイントが減少しています。



<製造業>

(先、%)

区分	売上高				受注額				区分	業況判断			
	20年1～3月		21年1～3月		20年1～3月		21年1～3月			20年1～3月		21年1～3月	
増加	2	3.5	0	0.0	2	3.5	0	0.0	かなり良い	2	3.5	0	0.0
やや増加	18	31.6	4	7.5	15	26.3	1	1.9	やや良い	10	17.5	1	1.9
変わらず	15	26.3	2	3.8	17	29.8	5	9.4	良くも悪くもない	12	21.1	6	11.3
やや減少	14	24.6	19	35.8	15	26.3	19	35.8	やや悪い	26	45.6	21	39.6
減少	8	14.0	28	52.8	8	14.0	28	52.8	かなり悪い	7	12.3	25	47.2
合計	57	100.0	53	100.0	57	100.0	53	100.0	合計	57	100.0	53	100.0

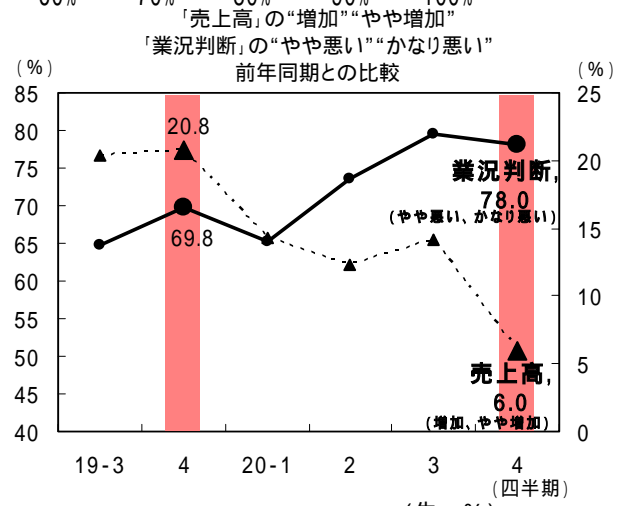


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

小売業の「売上高」では前年同期（回答数53先）は“増加”“やや増加”の割合が20.8%（11先）に対し、今期（回答数50先）は6.0%（3先）と14.8ポイント減少となっています。

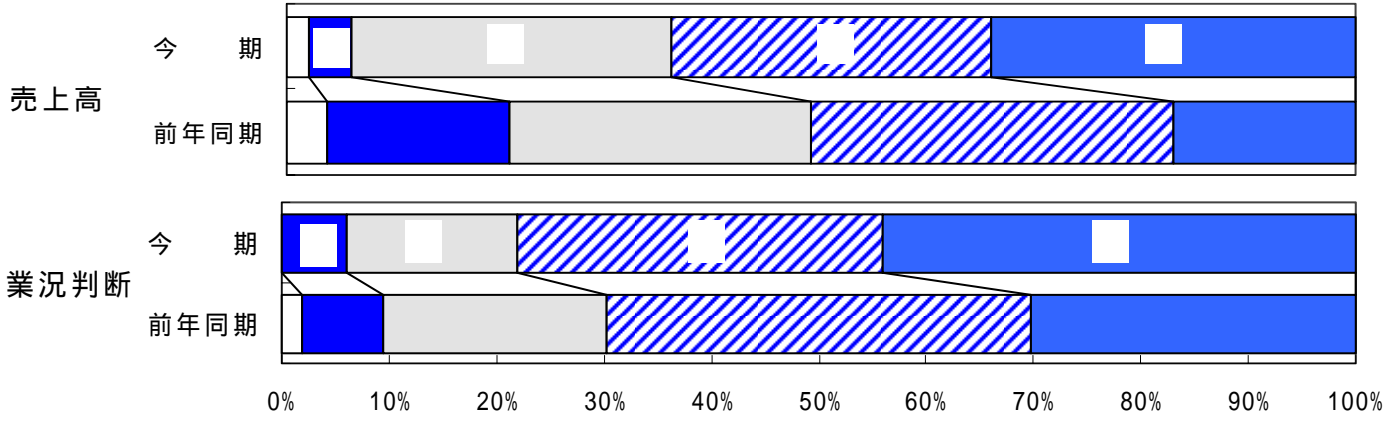
「業況判断」では“やや悪い”“かなり悪い”が69.8%（37先）であったのに対し、今期は78.0%（39先）と前年同期に比べ8.2ポイント増加となっています。

現在の不況の影響もあり、依然として、地域内における個人消費の停滞感がうかがえます。



<小売業>

区分	売上高				区分	業況判断			
	20年1~3月		21年1~3月			20年1~3月		21年1~3月	
増加	2	3.8	1	2.0	かなり良い	1	1.9	0	0.0
やや増加	9	17.0	2	4.0	やや良い	4	7.5	3	6.0
変わらず	15	28.3	15	30.0	良くも悪くもない	11	20.8	8	16.0
やや減少	18	34.0	15	30.0	やや悪い	21	39.6	17	34.0
減少	9	17.0	17	34.0	かなり悪い	16	30.2	22	44.0
合計	53	100.0	50	100.0	合計	53	100.0	50	100.0



## 特別調査

～ 昨年からの原材料等の価格高騰による影響と、その後について～

昨年は原材料等の価格高騰による不況感が高まっておりましたが、お取引先にその後の状況等をお聞きしました。

業種	ご回答
製造業	・ 4月以降下がる見込み。利幅の減少。
	・ 原材料から運賃まで値上りしたにもかかわらず、商品の価格を下げる と受注が他社に移される可能性が高いため、大半を従来どおりの価格 でやっているのが大変苦しい。
	・ 競争激化の折利益減少は、覚悟の上仕入等に注意している。
	・ 一度上がったものは、下がる時は下がりず日本で生産し続けられる限 界にきている。
	・ 当社は単価に上乘せして貰っているため、原材料等の価格高騰はあまり 影響していない。
	・ 原材料が上がったことが自社製品にはプラスだが、受注製品ではあまり 良くない。
	・ 最悪の状況。注文が50%減。
	・ 原材料の価格高騰の調整は一部を除いて対応はできるが、消費者の購 買意欲が予測できない。販売手段の開発により売上の上乘せを図りたい。 売上の減少の歯止めがどこまでできるか、目標は前年度対比増を 考えている。
	・ 当社としては価格高騰により12月に上げる予定であったが、その頃 に原料が上がりできなかった。
	・ そのまま価格に転嫁できるところに問題がある。
	・ 年度末にきて大分元の価格に近くなってきた。
	・ 昨年は原油等高騰により原材料は高騰したが今年は原油価格も下がり、 一部原油価格について値下がりが始まっているが、昨年施工した工事 原材料の高騰により原油コストが上がり利潤も減少した。今年はある 程度去年よりも利幅を上げる事ができるのではないかと。
	・ 先行不透明
・ 原材料は価格も落ち着き量的にも少々ダブ付き気味。しかしながら製 品単価の値下げの要請があり痛し痒しと言うところ。	
卸売業	・ ガソリンが下がっても、商品価格は上がったままである。
	・ 値上がりによる買い控えが増え、価格上昇分以上に売上が落ち込んで いる。値下がりが始まったが、4月以降でないと価格が安定しないの で先が読みにくい。
小売業	・ タバコについてはタスポ導入とタバコ離れが原因で売上減少と、酒類 においても売上減少。その上、ガソリン等経費がかさみ、小売業も運 営が難しくなってきた。

小売業	・ほとんどの商品が値上げせざるを得ず、消費量には減少がみられる。
	・規制緩和による大型店舗進出、客数減少、販売価格競争等により零細企業先益々悪化。
	・原材料に応じてやむなく値上げをした。原材料は値上がりのまま。
	・去年あたりからじわじわと値上がりしている。
	・原材料等に影響され商品も値上げせざるを得ない状況。また、それに伴い販売数も減少。
飲食業	・影響は大きい。
	・ETCの利用が増して客が多くなると思う。桜前線と共に客も増え、ゴールデンウィークが最高になると思う。
	・材料が上がっても、そんなに値上げができないし、値上げすると売上が減る。難しいところ。
サービス業	・地元の食材を使っているため、あまり影響なし。
	・今期はトヨタショック以降、観光客の増加傾向がみられ良い数字となるが、正念場は来年以降となりそう。
	・スキー、観光客はあるが、お金は使わない。コンビニ、道の駅、サービスエリアなどは良いが、私達の店はつらくなると思う。
建設業	・原価の上昇で利益まで残せないというところだ。
	・材料の価格は上昇するものの、お客様の立場から言うと不景気のため安くして欲しいとの声が多く、利幅も苦しい水準。官公庁からの見積り依頼も、とにかく予算がない、予算の少ない中からと、大変厳しい状況。景気回復を祈ります。
	・利益が出ないから経費節約となりますが、なかなか従業員にいきわたらない。機械を少なくして、リースにする等やっている。
	・原材料は値上がりしたが、大不況により工事がなくなっている。
	・原材料の価格は落ち着いたと思う。
不動産業	・不動産価格については、下落が目立ってきている気がする。ただ、お値打ち感の物件には強い「買い」「借り」意欲はあると思う。
農業	・燃料費の高騰があったが、その他経費の削減により対応できた。

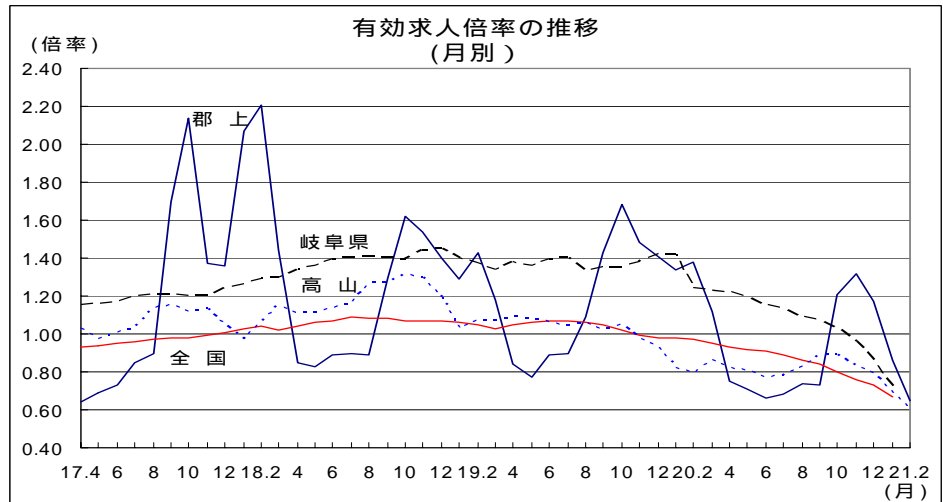
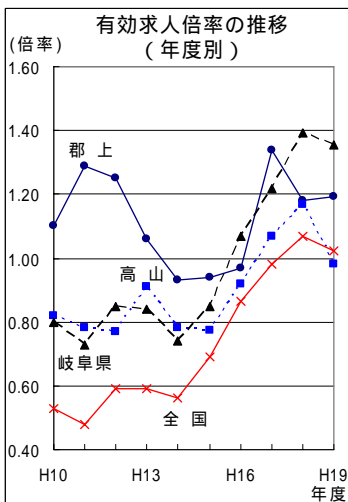
## 有効求人倍率について

関公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山の公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の2月の有効求人倍率は、0.65倍で前月比0.21ポイント、前年同月比で0.73ポイントそれぞれ減少となりました。これは最近の求人倍率では最低水準となっております。新規求人数は203人、前年同月比17人増となったものの、求人数は436人と前年同月比151人減。また求職者数が670人と前年同月比246人と大幅に増加しており、雇用情勢が一段と厳しさを増していることがうかがえます。高山管内の2月の同倍率は0.61倍で、前月比0.08ポイント、前年同月比0.18ポイントそれぞれ減少となりました。新規求人数は753人、前年同月比112人減となりました。

また、全国および岐阜県の2月の有効求人倍率は、全国が前月比0.08ポイント減少の0.59倍、岐阜県は前月比0.12ポイント減少の0.60倍となりました。

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$



年度別有効求人倍率

区分	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
郡上	1.10	1.29	1.25	1.06	0.93	0.94	0.97	1.33	1.18	1.19
高山	0.82	0.78	1.00	0.90	0.77	0.77	0.92	1.07	1.17	0.98
岐阜県	0.76	0.74	0.89	0.78	0.74	0.84	1.07	1.21	1.39	1.35
全国	0.50	0.49	0.62	0.56	0.56	0.69	0.86	0.99	1.07	1.02

有効求人倍率

区分	19.4	5	6	7	8	9	10	11	12	20.1	2	3
郡上	0.84	0.77	0.89	0.90	1.09	1.43	1.68	1.48	1.41	1.34	1.38	1.12
高山	1.09	1.08	1.06	1.04	1.06	1.02	1.05	0.98	0.93	0.82	0.79	0.86
岐阜県	1.38	1.36	1.39	1.40	1.33	1.35	1.35	1.38	1.42	1.42	1.24	1.23
全国	1.05	1.06	1.07	1.07	1.06	1.05	1.02	0.99	0.98	0.98	0.97	0.95

区分	20.4	5	6	7	8	9	10	11	12	21.1	2
郡上	0.75	0.71	0.66	0.68	0.74	0.73	1.21	1.32	1.17	0.86	0.65
高山	0.82	0.81	0.77	0.78	0.83	0.89	0.89	0.83	0.79	0.69	0.61
岐阜県	1.22	1.19	1.15	1.13	1.09	1.07	1.03	0.96	0.86	0.72	0.60
全国	0.93	0.92	0.91	0.89	0.86	0.84	0.80	0.76	0.73	0.67	0.59